

平成14年4・5月

瀬戸内海の赤潮

水産庁瀬戸内海漁業調整事務所

〔概要〕

4月

瀬戸内海では、7件（前年同月12件）の赤潮が発生した。内訳は大阪湾で3件、豊後水道で2件、伊予灘、周防灘で各1件であった。

出現した赤潮構成プランクトンは7属であった。

漁業被害は2件（前年同月0件）発生し、ともに豊後水道でコクロディニウム属によるものであった。大分県猪串湾では、養殖カンパチ・シマアジが合計47,160尾、畜養カンパチ180kgがそれぞれへい死し、被害金額は合計39,534千円、同県名護屋湾では養殖ブリ等が合計16,010尾、畜養アオリイカ30kgがそれぞれへい死し、被害金額は合計7,421千円であった。

土佐湾では、赤潮は発生しなかった。（前年同月2件、漁業被害無し）

熊野灘では、赤潮は発生しなかった。（前年同月0件）

5月

瀬戸内海では、20件（前年同月11件）の赤潮が発生した。内訳は、豊後水道で7件、周防灘で5件、大阪湾で4件、伊予灘で2件、播磨灘、燧灘で各1件であった。

出現した赤潮構成プランクトンは10属であった。

漁業被害は1件（前年同月0件）発生し、周防灘でヘテロシグマ属とプロロセントラム属の複合赤潮により、畜養スズキ等がへい死した。（数量、金額については不明）

土佐湾では、2件（前年同月3件）の赤潮が発生した。出現した赤潮構成プランクトンはヘテロシグマ属であった。漁業被害はなかった。（前年同月1件）

熊野灘では、赤潮は発生しなかった。（前年同月0件）

この月報は調査監視体制強化支援事業により、次の各府県から報告のあった赤潮情報を瀬戸内海漁業調整事務所がとりまとめたものである。

和歌山県、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、大分県

注：本報告書の数値は速報値であるため変更されることがある。

瀬戸内海の赤潮発生状況図（平成14年4月）

※数字は赤潮発生状況の番号を示す。



赤潮発生状況（平成14年5月） 発生22件（漁業被害1件）

番号	発生期間(日)	灘名	発生水域	赤潮構成プランクトン	最高細胞数(個/ml)	最大面積(Km ²)	漁業被害
1	3/11～5/9 (60)	周防灘	秋穂湾～徳山湾 (山口県)	<i>Noctiluca sp.</i>	不明	0.3	無
2	4/8～5/13 (36)	豊後水道	猪串湾 (大分県)	<i>Cochlodinium polykrikoides</i>	3,125	不明	無
3	4/22～5/7 (16)	大阪湾	岸和田市から泉佐野市にかけての沖合域 (大阪府)	<i>Noctiluca scintillans</i>	不明	不明	無
4	4/27～5/13 (17)	豊後水道	名護屋湾 (大分県)	<i>Cochlodinium polykrikoides</i>	2,220	不明	無
5	5/7 (1)	大阪湾	西宮市から泉佐野市にかけての沿岸域 (大阪府)	<i>Prorocentrum minimum</i> <i>Skeletonema costatum</i>	43,600 —	250	無
6	5/14～5/17 (4)	伊予灘	別府湾(大分市白木～西大分沿岸) (大分県)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	47,000	不明	無
7	5/16～5/23 (8)	土佐湾	須崎湾(桜川河口域) (高知県)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	9,340	不明	無
8	5/17～5/19 (3)	燧灘	詫間町地先 (香川県)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	17,600	不明	無
9	5/19～5/27 (9)	豊後水道	宇和島湾 (愛媛県)	ハプト藻 <i>sp.</i>	15,000	10	無
10	5/20～5/27 (8)	周防灘	中津港, 高田港 (大分県)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	41,000	不明	無
11	5/20～	大阪湾	神戸市から西宮市にかけての沿岸及び沖合域 (大阪府)	<i>Skeletonema costatum</i>	44,800	190	無
12	5/20～5/27 (8)	土佐湾	浦ノ内湾内 (高知県)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	36,000	不明	無
13	5/21～	周防灘	福岡県周防灘各漁港内及びその周辺 (福岡県)	<i>Heterosigma akashiwo</i> <i>Prorocentrum sp.</i>	204,000 15,200	2	有 (別表①)
14	5/21～	周防灘	福岡県周防灘沿岸全域 (福岡県)	<i>Chattonella spp.</i>	490	340	無
15	5/22～5/25 (4)	豊後水道	津久見湾 (大分県)	<i>Mesodinium rubrum</i>	13,000	不明	無
16	5/22～	豊後水道	岩松湾 (愛媛県)	<i>Prorocentrum dentatum</i>	50,000	3	無

17	5/23～5/31 (9)	播磨灘	北灘沿岸 (徳島県)	<i>Noctiluca scintillans</i>	不明	不明	無
18	5/27～	大阪湾	泉大津市沿岸域 (大阪府)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	1,010	40	無
19	5/27～	周防灘	徳山湾 (山口県)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	6,500	不明	無
20	5/27～	豊後水道	下波湾 (愛媛県)	<i>Alexandrium catenella</i>	40,000	1	無
21	5/28～	豊後水道	入津湾 (大分県)	<i>Gyrodinium instriatum</i>	800	不明	無
22	5/30～	伊予灘	別府湾(日出地先) (大分県)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	14,000	不明	無

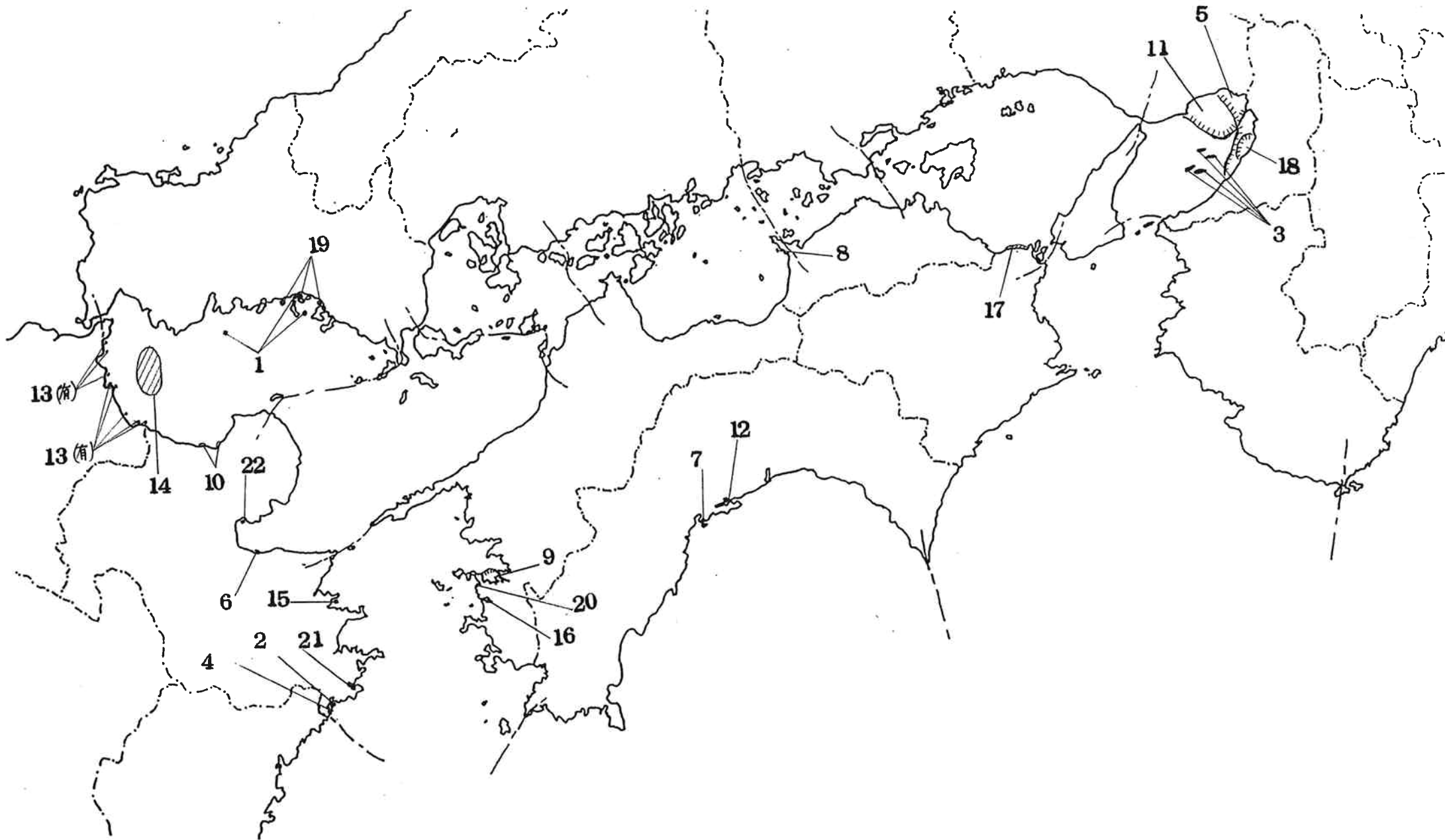
別表

赤潮による漁業被害 (平成14年5月分 1件)

番号	赤潮発生期間	発生海域	漁業被害の期間・水域	被害内容	被害金額(千円)	赤潮構成プランクトン
①	5/21～	周防灘 (福岡県)	5/21～ 福岡県周防灘各漁港内 及びその周辺	蓄養魚介類 スズキ, ホラ, クロダイ等 へい死 (尾数不明)	不明	<i>Heterosigma akashiwo</i> <i>Prorocentrum sp.</i>

瀬戸内海の赤潮発生状況図（平成14年5月）

※数字は赤潮発生状況の番号を示す。



赤潮プランクトンの出現状況（平成14年4月）

単位：件

プランクトン名 (属)	瀬戸内海									瀬戸内海計	土佐湾	熊野灘	合計
	紀伊水道	大阪湾	播磨灘	備讃瀬戸	燧灘	安芸灘	伊予灘	周防灘	豊後水道				
<i>Chaetoceros</i>		1								1			1
<i>Cochlodinium</i>									2	2			2
<i>Eutreptiella</i>		1								1			1
<i>Heterosigma</i>							1			1			1
<i>Noctiluca</i>		1						1		2			2
<i>Skeletonema</i>		1								1			1
<i>Thalassiosira</i>		1								1			1
計		5					1	1	2	9			9

赤潮プランクトンの出現状況（平成14年5月）

単位：件

プランクトン名 (属)	瀬戸内海									瀬戸内海計	土佐湾	熊野灘	合計
	紀伊水道	大阪湾	播磨灘	備讃瀬戸	燧灘	安芸灘	伊予灘	周防灘	豊後水道				
<i>Alexandrium</i>									1	1			1
<i>Chattonella</i>								1		1			1
<i>Cochlodinium</i>									2	2			2
<i>Gyrodinium</i>									1	1			1
<i>Heterosigma</i>		1			1		2	3		7	2		9
<i>Mesodinium</i>									1	1			1
<i>Noctiluca</i>		1	1					1		3			3
<i>Prorocentrum</i>		1						1	1	3			3
<i>Skeletonema</i>		2								2			2
ハプト藻									1	1			1
計		5	1		1		2	6	7	22	2		24

注1) 出現件数は、複数のプランクトンによって構成される赤潮の場合、プランクトン（属）ごとに計上しているため赤潮発生件数と必ずしも一致しない。

注2) 複数の灘にまたがる赤潮の場合、灘ごとに計上している。

赤潮プランクトンの種類別出現件数（平成14年1月～5月）

単位：件

プランクトン(属) \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
Alexandrium					1								1
Chaetoceros				1									1
Chattonella					1								1
Cochlodinium				2 ②	2								4 ②
Eutreptiella				1									1
Gyrodinium					1								1
Heterosigma		1	1	1	9 ①								12 ①
Mesodinium					1								1
Noctiluca			1	2	3								6
Prorocentrum	1				3								4
Scrippsiella			1										1
Skeletonema		1	1	1	2								5
Thalassiosira				1									1
ハプト藻					1								1
	1	2	4	9 ②	24 ①								40 ③

- 注1. 出現件数は、プランクトン（属）ごとに計上しているため、複数のプランクトンによって構成される赤潮の場合、赤潮発生件数と必ずしも一致しない。
 2. 赤潮が複数の月にまたがる場合、月ごとに計上している。
 3. ○数字は漁業被害件数を示し、優占種に計上している。

赤潮発生件数（平成14年1月～5月）

単位：件

灘名		月												合計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	延	実
瀬戸内海	紀伊水道			1										1	1
	大阪湾		1	1	3	4								9	7
	播磨灘					1								1	1
	備讃瀬戸														
	燧灘					1								1	1
	安芸灘														
	伊予灘				1	2								3	3
	周防灘			1	1	5 ①								7 ①	5 ①
	豊後水道				2 ②	7								9 ②	7 ②
小計	延		1	3	7 ②	20 ①									
	実		1	3	7 ②	20 ①									
土佐湾			1	1		2							4	3	
熊野灘		1											1	1	
総計	延	1	2	4	7 ②	22 ①									
	実	1	2	4	7 ②	22 ①									

注1) 縦計の「延」は複数の灘に、横計の「延」は複数の月にまたがるものを各々計上し、「実」はそれらを1件として数えた。

注2) ○内の数値は、発生件数のうち漁業被害のあったものを示す。

